

ちよたん★先生名鑑

介護福祉コース

松井 順子 先生

神戸生まれの神戸育ち。そのせいか、いつもオシャレで上品な雰囲気を漂わせている。しかし学生の成長への思いは人一倍強く、講義ではつい熱くなることもあるという。先生の真剣さに、学生はしばしばハッとさせられる。



コロちゃん、溺愛中。

どんなに忙しくても、愛犬の朝夕の散歩は欠かしません。真っ白で丸っこいから、名前はコロ。ポロニーズというイタリアの犬種です。溺愛していて旅行も必ず同伴。とつても甘えん坊なのに、やはりイタリアの男の子ですね。女性には目がありません。女子高生にカワイイ!なんて言われると、彼は1人ずつ飛びつき、ポーズをしてみんなの機嫌をとります。

可愛い花々に癒されます。

趣味はガーデニング。花の気持ちをコントロールするのはなかなか難しいです。思い入れが強過ぎて過保護に育てる傾向があり、そこはちょっと反省。最近、本館の屋上庭園を管理する園芸サークルが立ち上がり、その責任者を任せられました。メンバーの学生と一緒にプランを練っているところです。花に興味がある人は、ぜひ加わってください!

最近は忙しくてなかなか出かけられないのですが、趣味はスキーと旅行です。



神戸の銀行で健康管理センターの産業看護師をしていた頃です。



秘情熱、めめています。



【主な担当科目】

医療的ケア・認知症の理解・発達と老化の理解

【主な活動】

「食」を通じた在宅高齢者の支援を中心に研究。研究範囲は、事業者の経営・運営を含む制度やシステムを中心に、多方面に及ぶ。平成26年度から3年間、大学教員5名(本学から3名)でチームを組み、学術振興会・科学研究費による「都市規模別にみた高齢者・配食サービス事業の経営規模と安定供給・運営に関する研究」にも取り組んでいる。

ナースをしていました。

私は看護師としてキャリアをスタート。その後、社会保障を勉強したい思いが募り、36歳で大学の経済学部に入學しました。訪問看護の仕事の続けながら、学生として主に配食サービスに取り組み、その研究は現在も継続しています。時代の流れとともに、介護の世界でも医療的なアプローチが求められています。千代田短大は介護における医療的支援に早期から着目していて、私も経験を生かした授業を展開しています。

コミュニケーションはマメに。

ちよたんは少人数クラスのため、学生と教員との距離が近く、かなり密に関わることができます。これほど学生と教員の一体感がある大学は、なかなかないのではないのでしょうか。私は自分の研究室を極力オープンにしているので、気軽にやってきて質問してくれたり、そのままここで勉強する学生が多いです。

